荻園詠草

830
4
89

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』 請求記号 830-89

ガラス使用

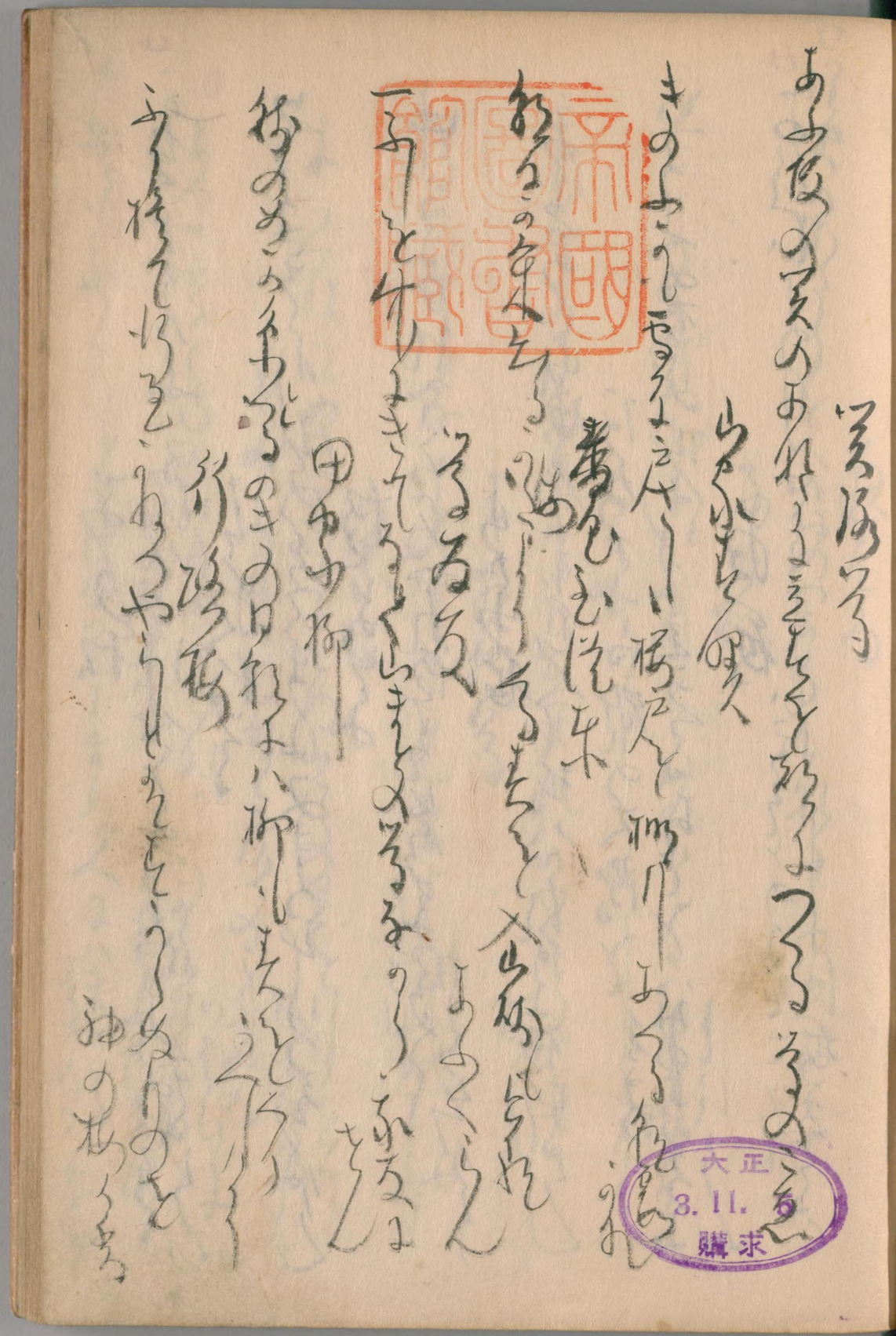
文[illegible]

荻園詠草

830
4
89

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用



大正
3. 11. 5
購求

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』 請求記号 830-89
ガラス使用

子日松

〇あきもしらす八千代のまつをひくひとをまつやまのかけにさかゆらん

千とせ待る

ちよまつのいのちなかきのまつしまのまつのちとせのすゑもかきりし

時しらぬ日かけへてそめてやれ松のときはもかはらぬ

松契久

あけはあくる山桜花もしらて桜はさかりのうへに咲らん

山中桜

いのちなかき白雲の大空にかゝるあとをたちとはたつねけん

夜桜

〇あけはよのまにいろもにほひもかはらしとのよはにたえ桜かさそふる

雨そゝく

〇吉野のやまのさくらのおもふこゝろにそまくゆかしきふるにかほる

湖月松

さゝのまの手枕のはなにいのちさそふ花のよそはしき松を

残桜

みちもまよひゆくかへるさのつれなくてもしるき

夜桜

よるのまにねる手のいろのはなまさり花はさきにけり

山家桜

木のくれてのきのそこのめ山のはなのかけにそれ

そめのしのねかしあさのこゝろのいのしらて

あつさゆみひきのこそれのうらかすみて

そらもかすむひしきけふのあかまはの人まちまさるのこゝろ

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

たえぬ清水
おもへれはとしよりの白髪ハたえぬ清水のかけにみえけん
　　雨蝶
あるゝ世のむかしのころやいかにかありにしきねつきよ
　　桜かけ
いにしへも流れてたえぬ清水にてくむ人もあるき
　　山中院
さくらやゝまいつしか風にくまれぬらむ
　　てる子
人こそしらぬおくかにそゝく清水のたえぬ心の
　　新花子
　　秋荷子
おくふかきわかすみかにあらぬ清水のまきのしたみち
　　新薬
　　もとの秋の

春風
山桜ちりもかゝる吹風のはひかゝるこそかなしけれ
　　吉野
あるかきさくらのちりかゝる川の流れやさひしかるらん
　　よしまさ
いにしへのこゝろにかゝるや田の畑やうかるにかあるらん
　　みやのなほ
あれはいさやめかゝるはなのちるうちに心のとまる
　　もとなかり
なかのおもひのさくらはなとなりにけるかなつもれる
　　まさかりし
まつよみりてさかりの花の香をしたひくれのの

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

世中の[illegible]川[illegible]

このころの[illegible]人このみよりも[illegible]
けふの[illegible]川[illegible]

[illegible]
こもくさ[illegible]
[illegible]

池[illegible]
このころの[illegible]

男に[illegible]
このこの[illegible]
[illegible]

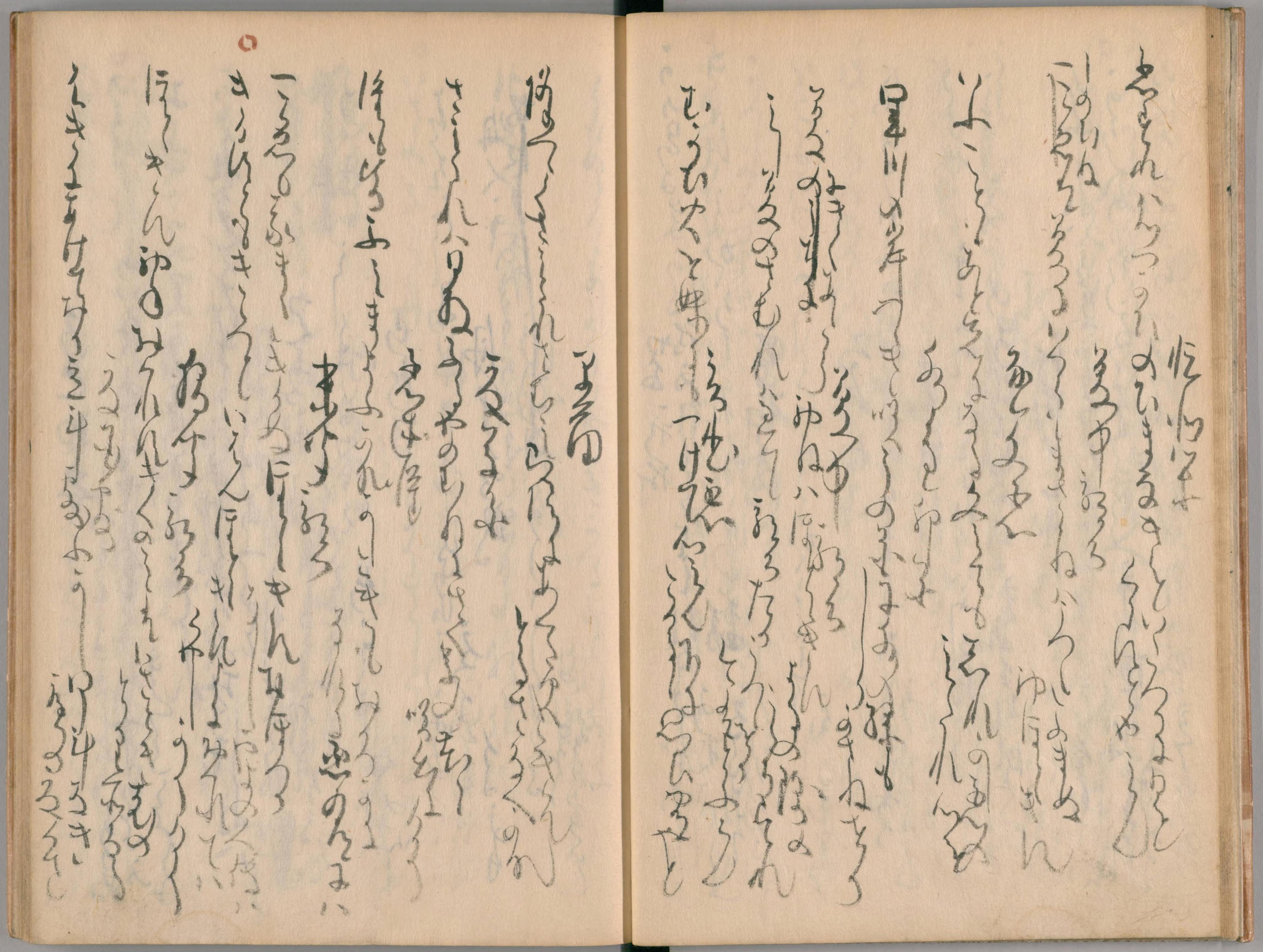
[illegible]
このの[illegible]
きのふは[illegible]かくらひの[illegible]

暮[illegible]
[illegible]かくらし[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
このりく[illegible]
[illegible]



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』請求記号 830-89
ガラス使用

さしよめ子このよまゝ雨におもふゝや侘れゆくよしてくもりなるらむ

田家春雨

久しかる

いと多くさしいねるにほ村れあふきまとして　あさ侘はりく

まきやるまもしかしつかるのりくらはしきれ　一こゝろのうち

おのつから

こゝろへよ時雨ちれて　今よふことかけはのと　ありくしるのれ

池水氷

立りるに池のうちやまさるらん　名残のこゝろ　とほさこゝろ

りりこのうるまへのうらしきくもし　やるやさしりのまあよほ夜

根立りる

えけ月尽

えぬよいかしくるめころちしてゐる　ほとゝもゐるき　りのれのれ

このほしに初とゆつゝてゐるよ初まて　春はて侍る　ほときれる

時雨

ほしきれたしこゝろにまあるれいこゝめや　こさ　きのはれ

こゝろまかて時ならゆよいくらしこのまれし　名のれは侍れ

虫声寄夢

星人ゝの夢にもひくあやあてもしりとあやるはの　根さしろ行く

立りる時

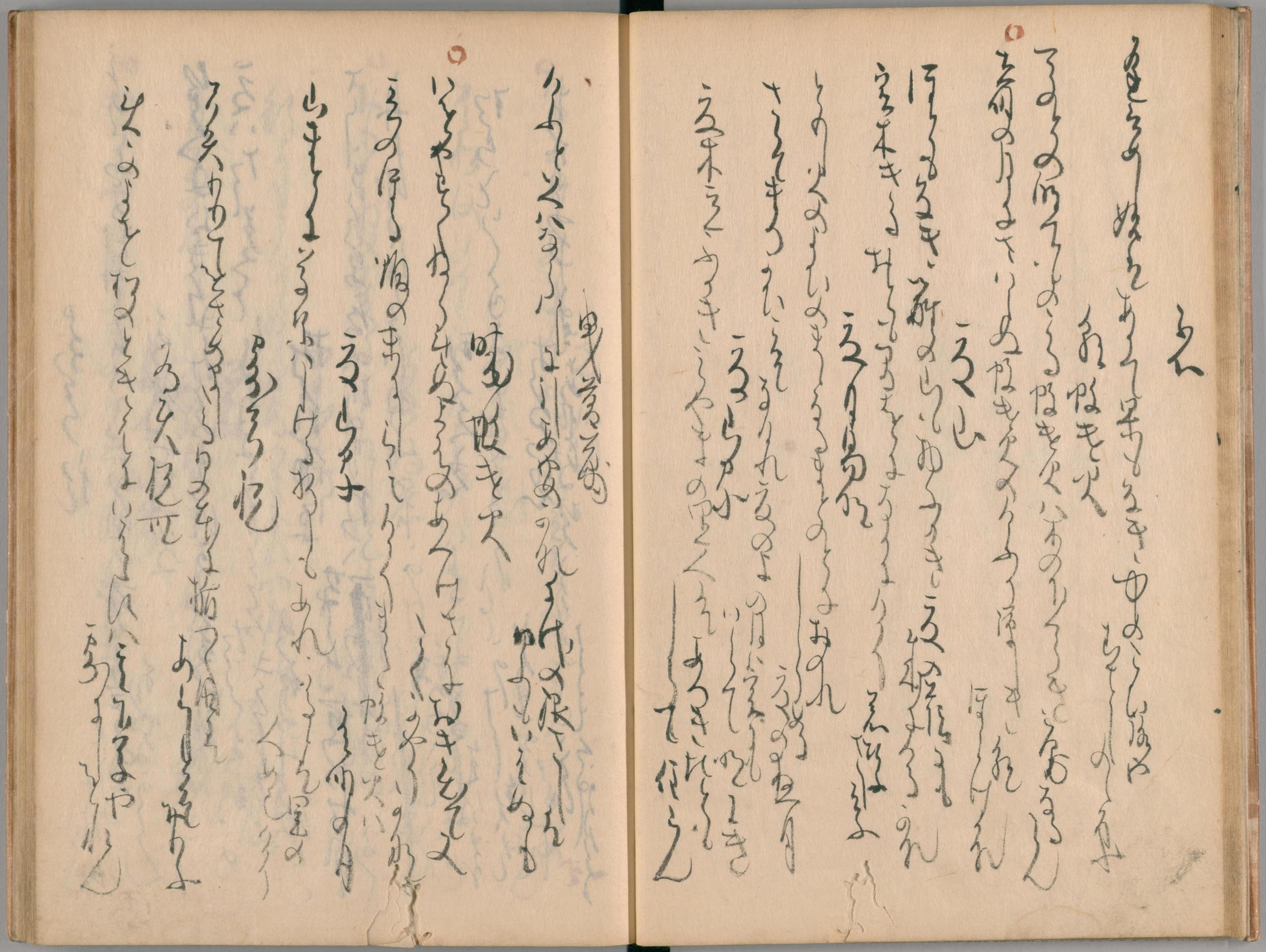
らとるく木めこれいたりるめこれいゝさしは　のき

さこしれ深りよ六時りちらく　ゆあまく風のねて　のしまさこく

根立りる

さゝしれよ足ものくれ秋くころまくうらしてけいなりまさゝる　行よく

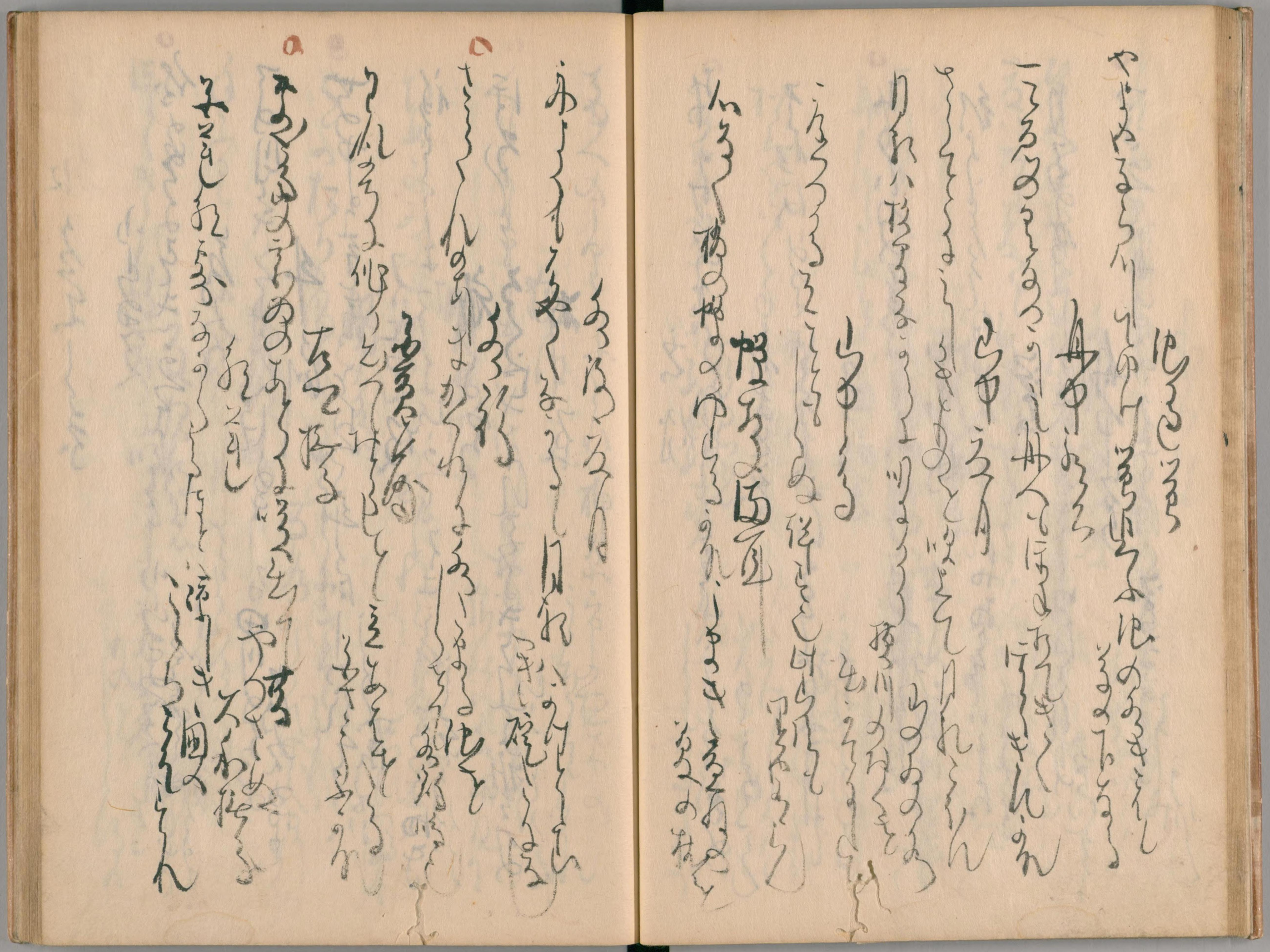
国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

に　くれしらず

小山田にて

徐のなるみきこえれとも小山田の鷺のなく也

藤衣

そのほとゝきすも見なれにし田川藤のなのかの色

井の川

花ちる里のなかをうつ井の川しのふそち風に

ふるさとの梅

咲みちてあはひのうる不二の波かけはかゆきに遠方のなかれ

新宮

ほかしにころもきちしれはなきこえて瀬のはなの心にかかれ

柳　なし

春くれとやましたふられ柳なきにうちなひきてもらられ

柳江

くれのなかそれたくほくとはるかしてとも柳のおもふれ

明石の井

いまのみるのなのくなかきてねのなかさとはつなき波にいつれか

男山

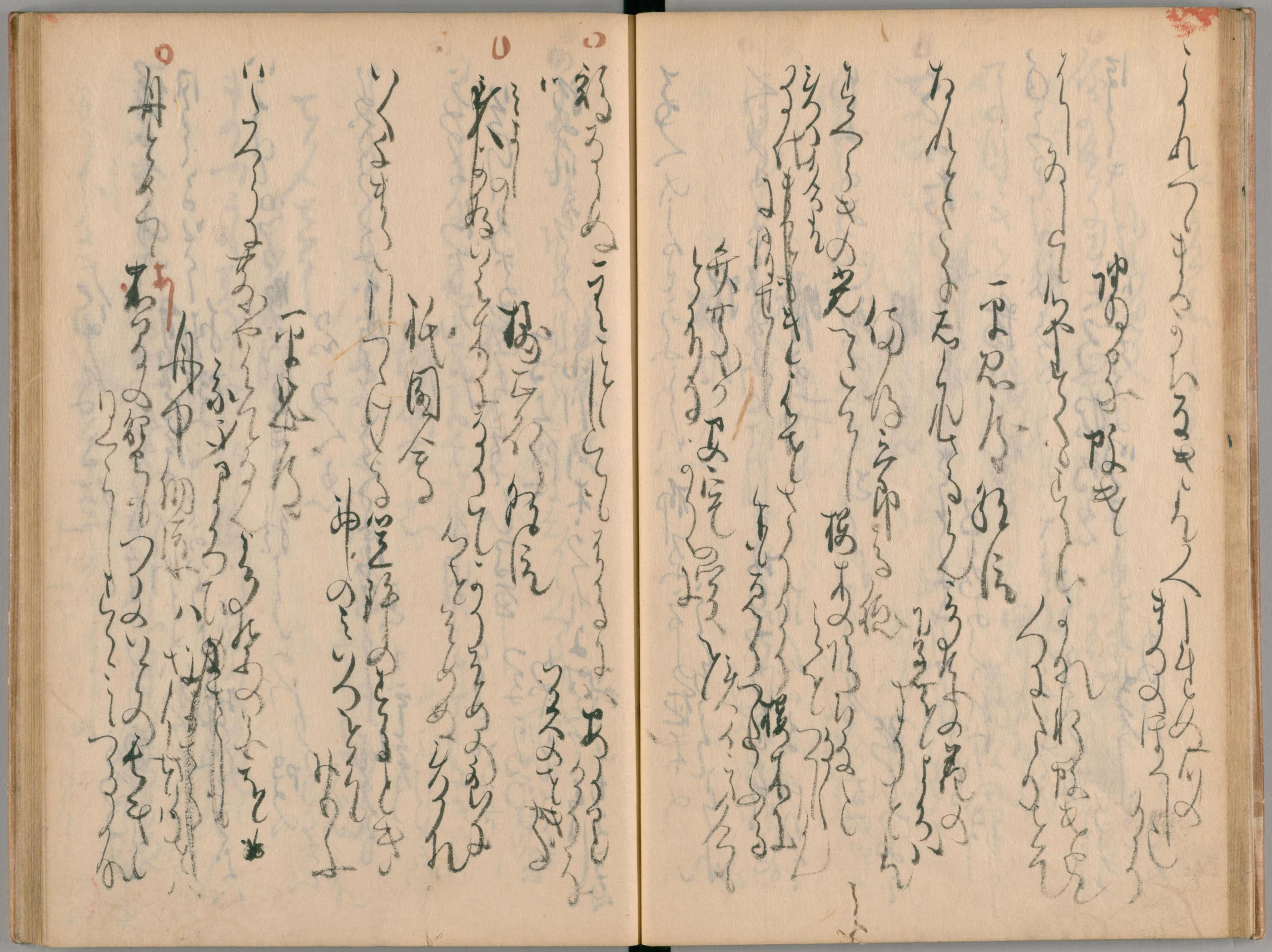
くものたちの男山にきえまきてえのはなかなみかゝる

藤霞

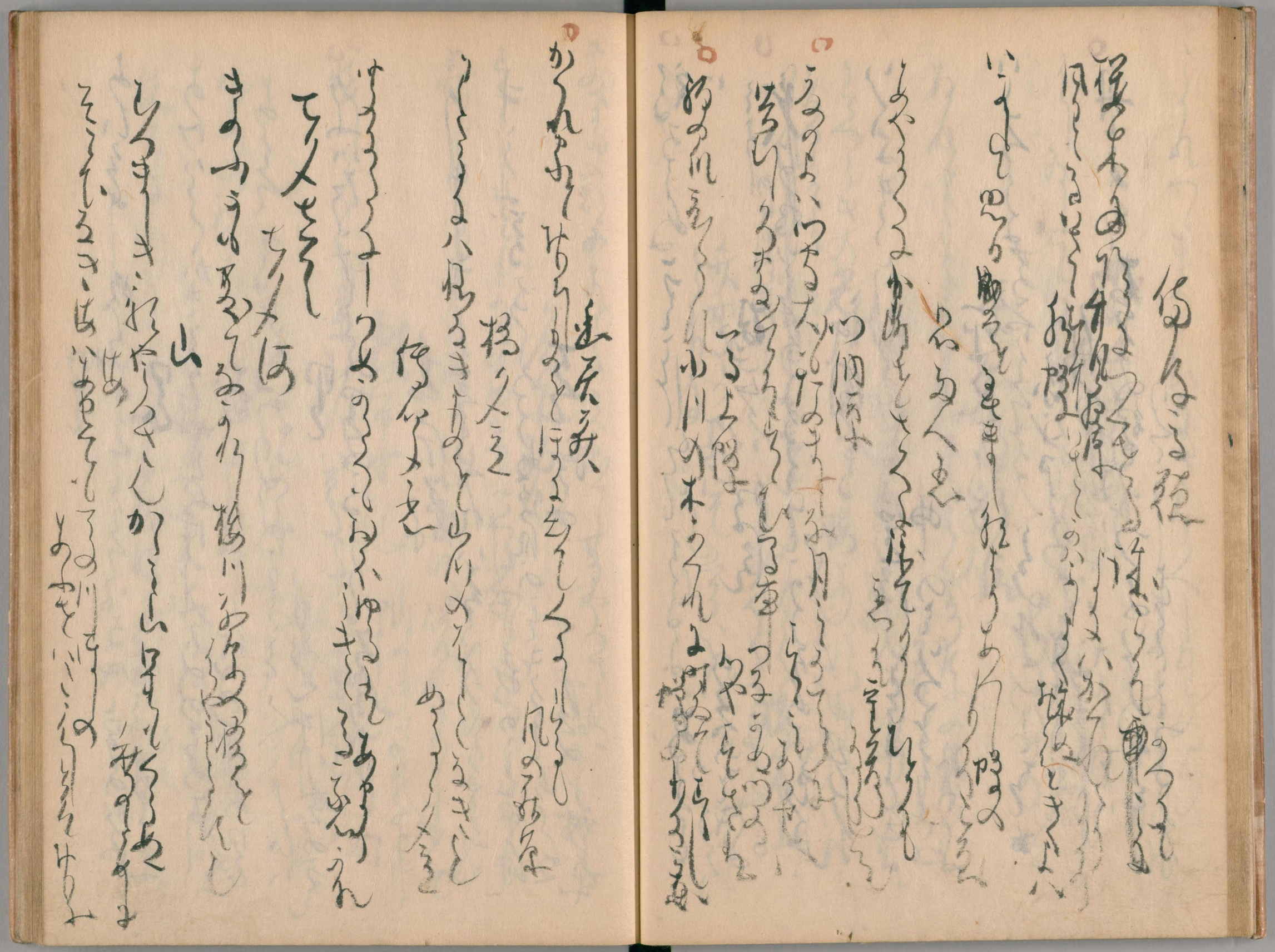
はやもしをはなるとさはるひきくかの春は雪をくる

ふえ桜

ほのきくれ鳴一声けふもきつみきせぬかのまゝ



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

十五夜十三夜とて

暁月
ともしひのかけもほのかになりゆけはありあけの月のあはれなるかな

海辺
秋さむきむしのねのみそ月かけに
松虫なつゝ
かたふけは

八月十五月
山あらしにふきおくらるゝ秋風の月とおなし
夜半のそらかな

古寺月
ゆくらかにきゝなれしかねのおとさへに月よりかはるありあけの月

古寺月
思ふ身のすゑ

（月前）
なかそらの月のひかりにたちそふる人のこゝろの

野中月
うかふやと夜半の月かけにさやけき秋のさかりなる
あはれをかりそめの月

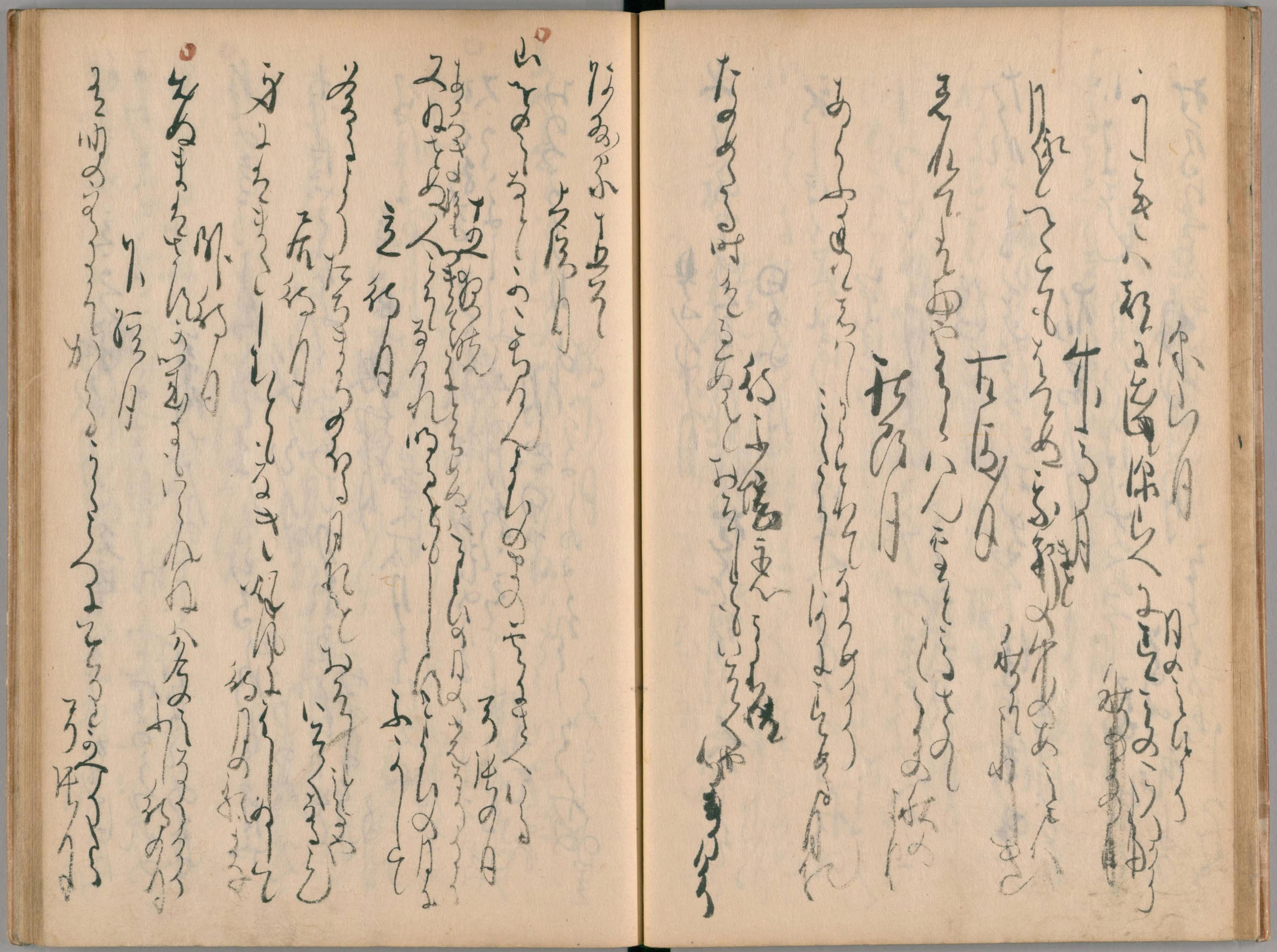
田家月
秋しほのくさのはつかにおきてよりおもひこそあれ

杣月
しつかなるものつくりの事をなくさめのよのあはれさを
くる人もなし
わけしたひ思ふにぬるゝ袖のうへにかけをやとせるあきの夜の月

野中月
たれにかもおもひしるらむさよ更てあはれをしらぬ秋のなかめは
さそふらむ

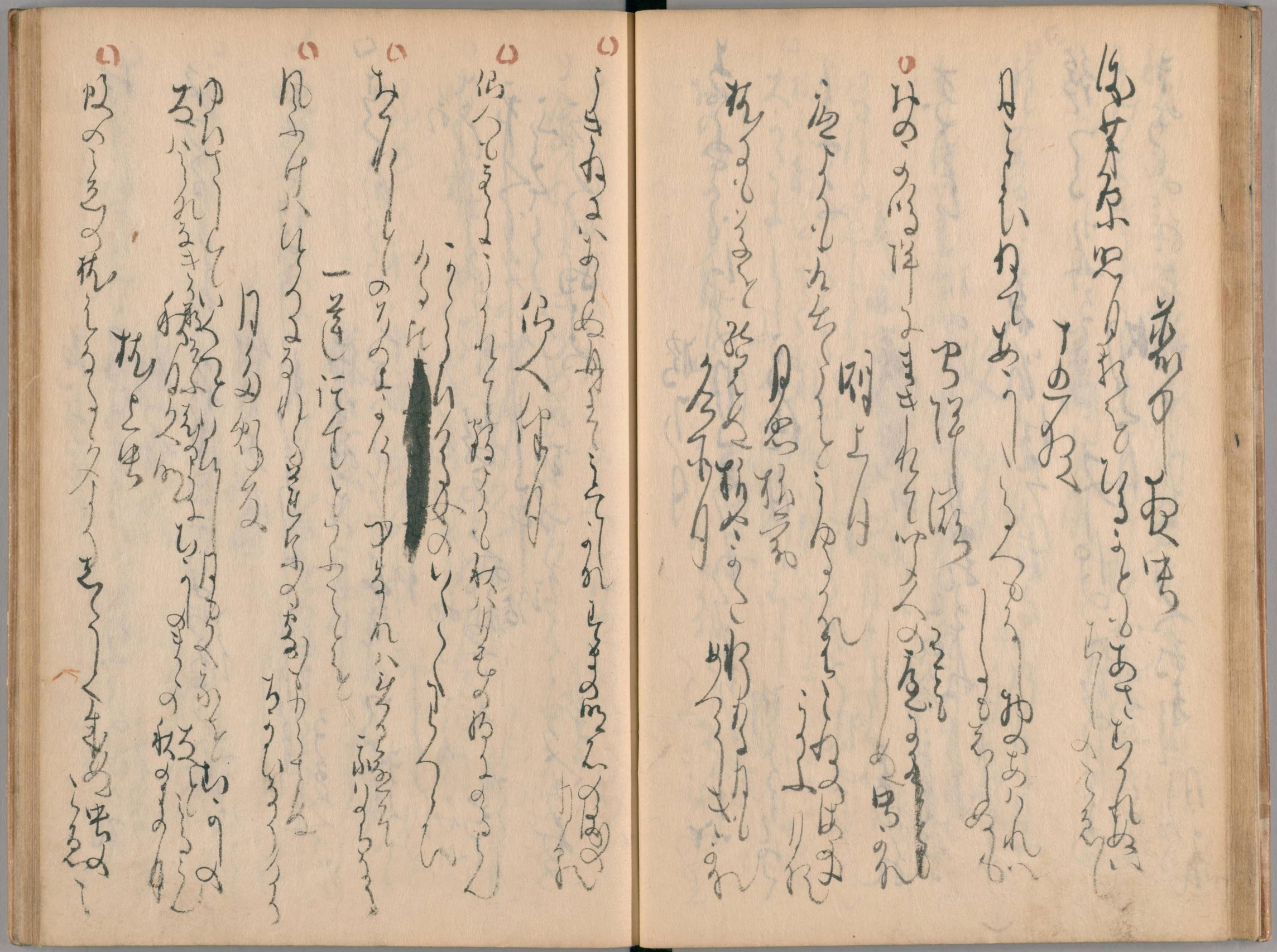
松間月
いまさらにおもひしられてなかめやるよはのけしきに

岡辺月
村雨のはれてのちの空にさしいてゝかけもさやかにてらす月かな



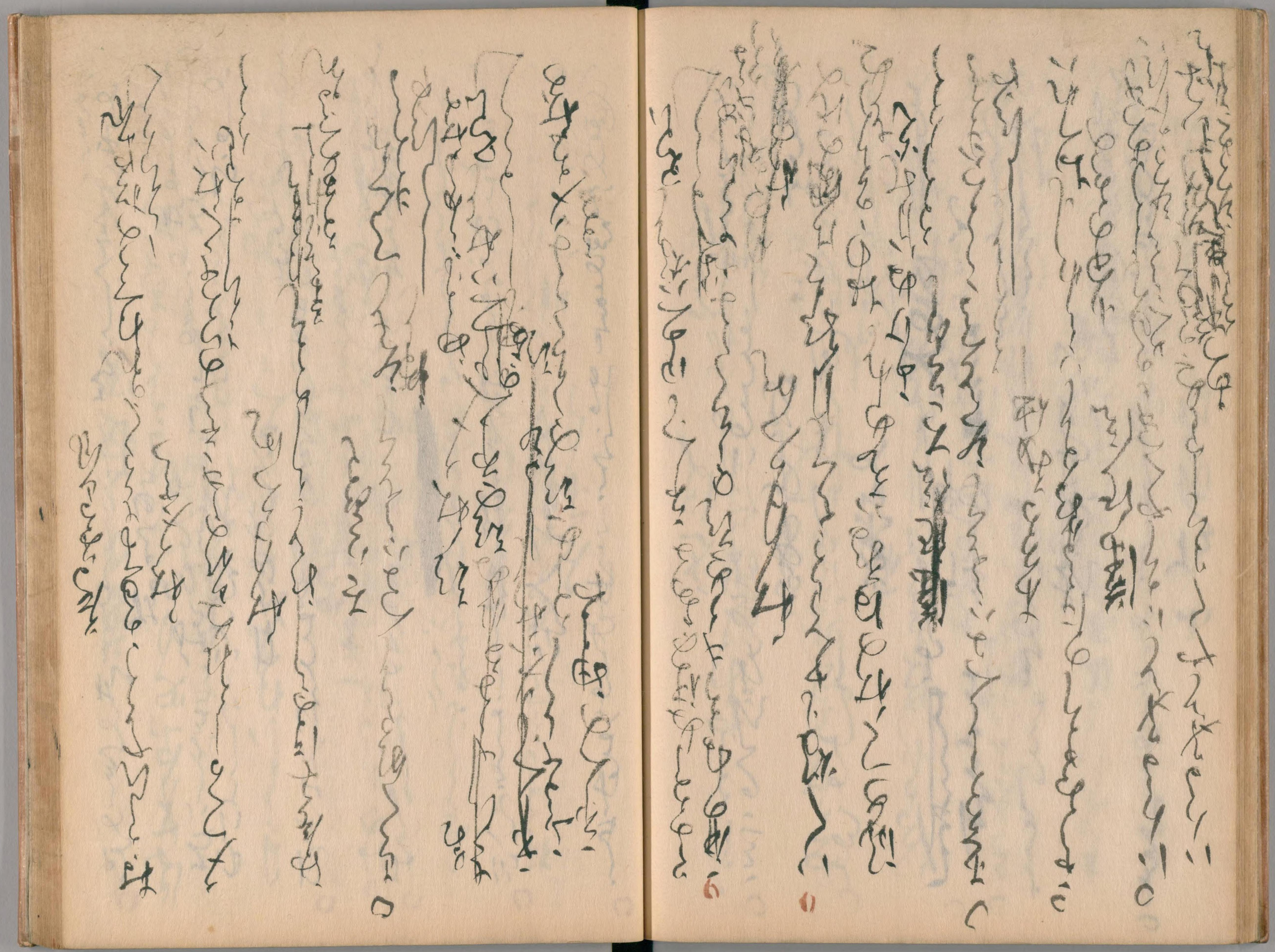
国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

ねさめやさえこほる秋の月ひかりも又はるゝそらしかねはの尾
まけきみもこそつたひしゆく空のくもれる月よゝしの末
萬場ちる月
浦のなみしらぬくまなくてらす月影ものかけりさゆる汐や
坂路月
かりほやくゝのそのはまあれしりのかけりさえてしかけの
秋かけのまかし
深山中月
煙風ふく雲ものかれる葉末林月かれるにゝなのあさて
秋風あきらかに秋霧のわけ行月かけのまさるかな
大かたのよしの月のかれるをのみうたれ
月照田家
みのつくり月もいのちのまされしるしのこれ[の]里
橋下月
あやめそこにはその月かけかゝるたる橋の
河のうへや
江上月
しはよひのやくとこえてもまち出る月かけの汝ふ
蘆橋月
すゝしさる柏のなかほにおもれ
よ秋ハたつよそ月からさる
嶺上月
蘆花江月
峰つゝる小舟をこしたはのなかに月の
閑中月
きぬくのあしかしまされたの人影もこゝろまれ

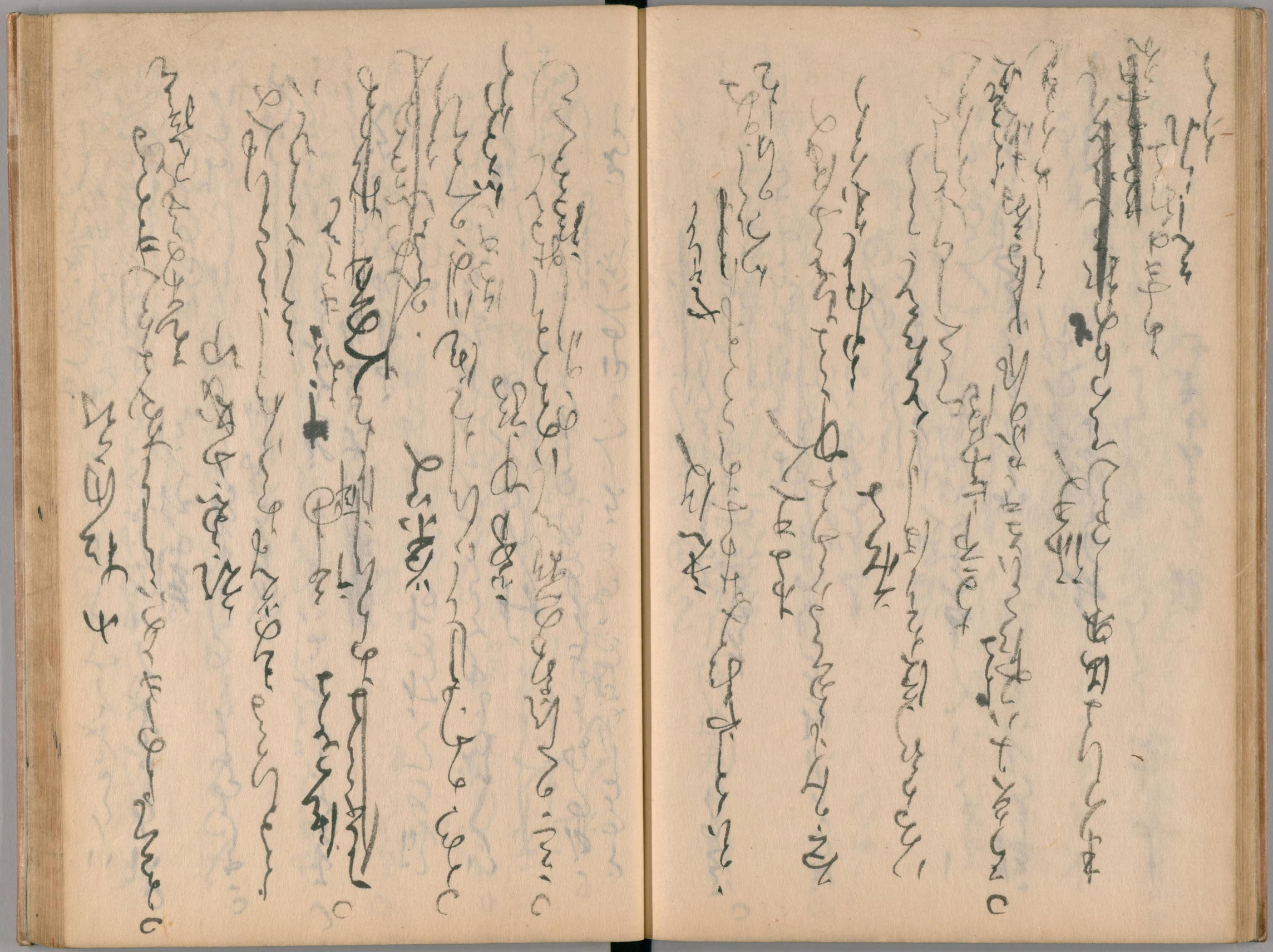


国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』請求記号 830-89
がラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』請求記号 830-89
がラス使用



権中納言季[illegible]

よのなかりのとこゑめくらはいのちなりけり　[illegible]

従二位家隆

梅かえにやとれるかけはさくらいろの

いまさらにまた山のはにさそはれて　くるをうらみつ

いけすみのかけのこほりの

○みるまゝにおもひしもすゑ

上秋篁[illegible]

よしのゝいはのまはいつる

○[illegible]ゆけはかすみのかけそふる

[illegible]宮内卿

こたかき[illegible]

[illegible]のあはれたちゐにあくる

石田ぬし

[illegible]をしらぬすきたまきの

あはれなる[illegible]

○よしあさりうちいつるなみのかけ

左京太夫[illegible]

[illegible]いまひとつくりのゆつる

○かきくらしまたれかくしあはれは[illegible]

伯某人有[illegible]

ゑにかゝるこゝろもなにくりかへし

石田ぬし

[illegible]みなれぬれはかそへてゆけは

大[illegible]

○つゆはまつのえにとゝまれる[illegible]

みわたせはのきさかへ

○ゆふたちにはせ川のいろもかはりけり[illegible]
にこり川よゆふはなきしなのほりのさかもしきにはなれ
よそのあらしのさゝ波よりてうきぬかよ

作者不知

村上院

○まとかにてあはれさひしきよるのまとにはつる
花園左大臣

○山ちかくならはなつかしきとき[illegible]
白楽天

○たゝやすのかはしのいそのまつか[illegible]

○ほうこ院と[illegible]
はるかなるへたてしほりにゆくこゝろ

久米仙人

○ことしもまたくのはなのまつかけ
[illegible]

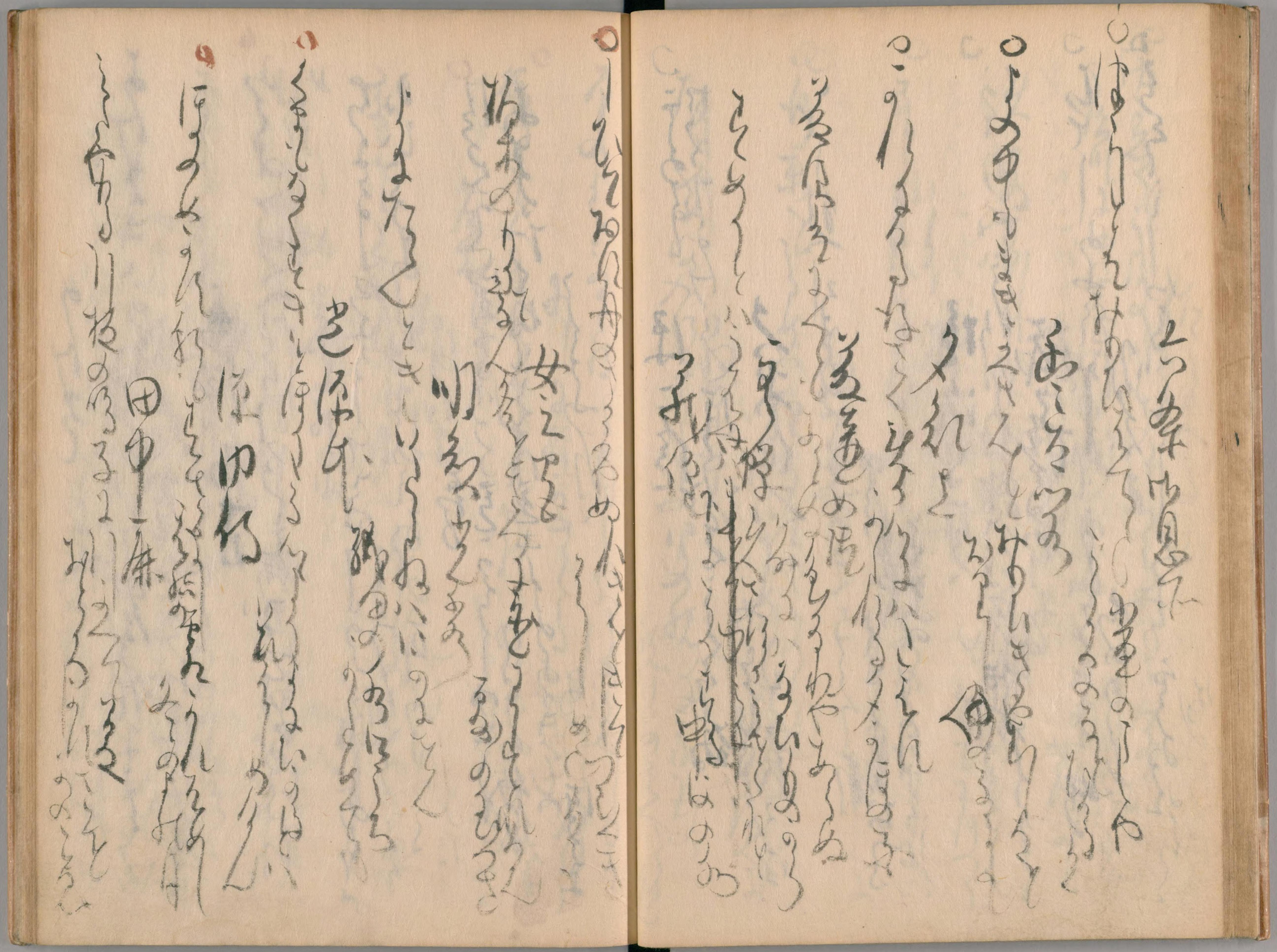
○みわたせはおりにふれつゝ[illegible]

梶流景

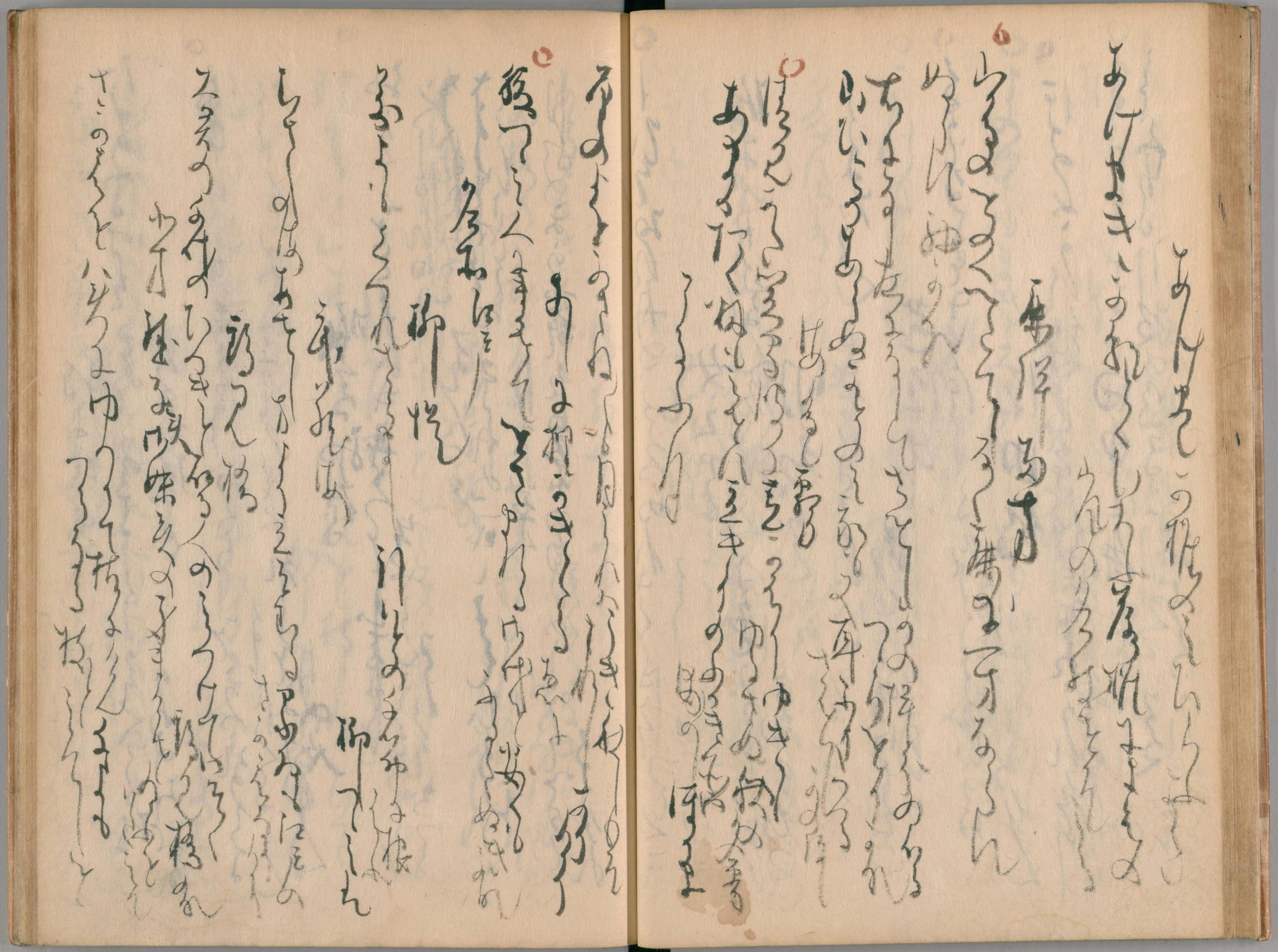
民部卿[illegible]

○あとしおもひしかすかにいろに[illegible]

○ちとせいまもしるしそ[illegible]



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

松下残雪

松風のさむゆふへにさむきさよまきぬのこしはかれはおもほえし

山家夕暮

けしきえらるゝさこゆふまくれあはれさまさるかな

らるゝえこそあはれもるさとのとはのあはれとおもひとも

しのゝめくらし

志賀 広之

えらいそひのれしめとにほふまこまあ残りしとも

○ 三条のうちねのひまりよそてふかうひらけてみえこのみ

咲梅ニ件するえしとみをりなきちの雪と

えとふくるをし

生ふえくの 桜園記

ふえはつれてくのこゝろにとこのよしとくは

さゝおのうるしよのあはれとそうもいやめ

こゝくのまちしのあはれのまもおのゝあ

しまのまゝのちりしつみちしをりしは

えうさしまつはれさゝのうきよりしはせち

こうつおちかれともえはれんて子たち

のあるそれもしよしにうちほとも

のまよはよあみてうとえよすえうちとも

のかすしくさののかくなきそとれ

みうまとて折のそしき桜 わかなとえれ

ゐよのうひそそれなかりやまちえれ

りれさそあつるゆらしみ桜みあるをし

この国のえくぬらちもかるきりよて

やうえて桜園とししいかるうえ

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

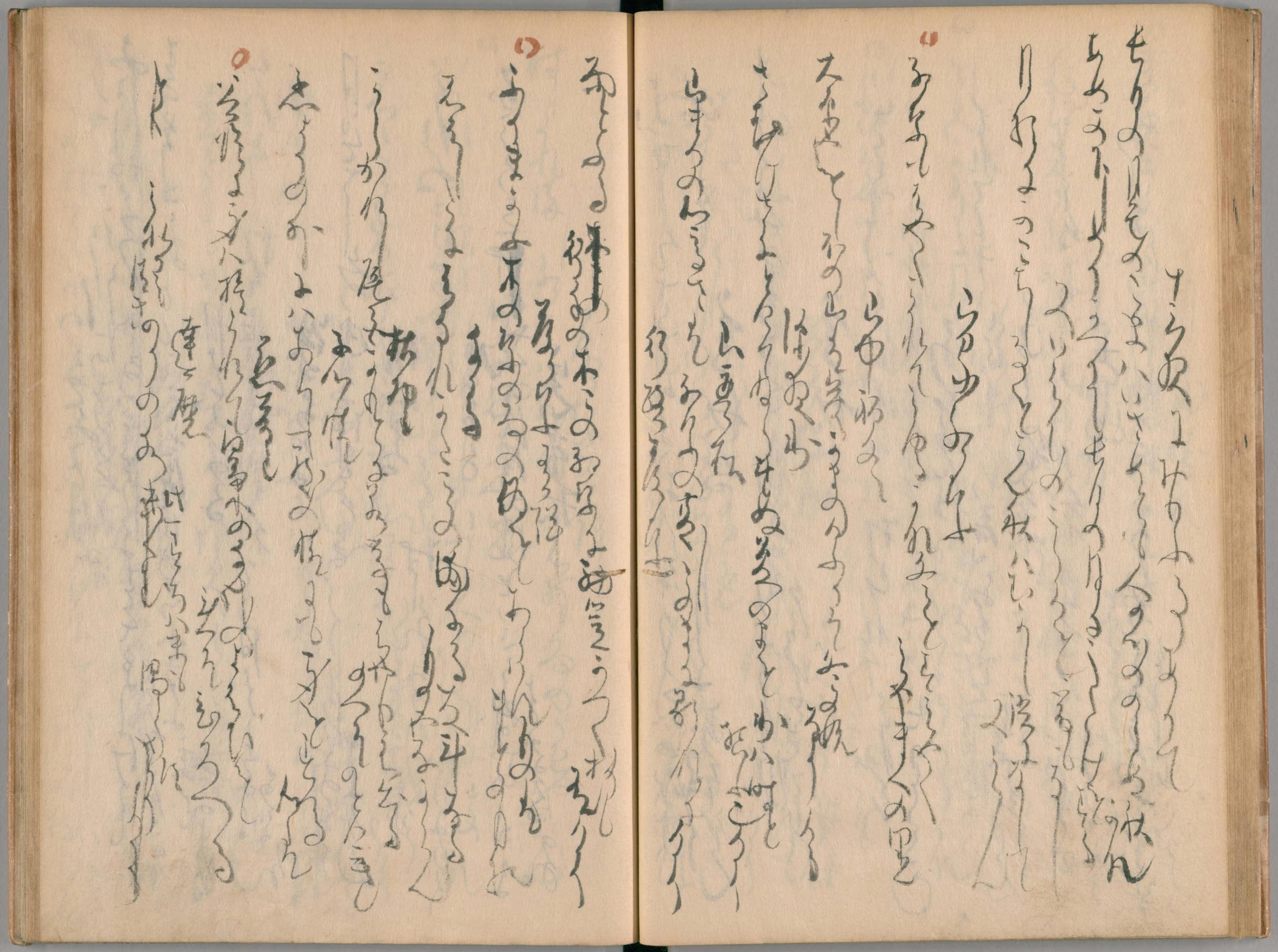
国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

○さらぬだにみるもさびしき秋の夕ぐれにかりのなきゆく
月のあはれに　ねさめてもおもふ
寝覚月
ねさめするまくらのうへにもれいづる月かげさへも
夜半月
よるなかば月もすみゆく秋の夜のふくるをしみて
月映水
もろともにすむ水のそこにうつれる月のかげ
夜深月
さよふけてきよきかげこそみえわたれ
　　月かげのさやかにてらす
暁月
いさよひの月のかげもみえて
　　月かげはのこる
夜さ

よもすがらさびしさはあはれなるものを
右さゝえ
草枯る
まつむしのこゑもかれゆく
草秋なる
いはぬまにしるしるは
○いにしへのみちをたどれて
しもがれて
むかしをおもふこゝろ
きのふけふ



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

松たくの妹の氣色を在し松はまれとそゝかれ
影しける松の色かはりもせすなかめの後の色
河のる
けふのつらぬるこそと河波のうちよせてかへれはそえし
老年
みなかみ人の心をとゝめてし年ごとに住居の
めぐるとみるなかめ
光とめる年さえきさき川の流すまなく
みなかみの
月
ありさとはねてさえもとゝ人ぬ名のるあま人
旅宿夢
かくとみつよふれ
ともそれとは夢の路をまよひくる
ふみをめかりて
雪中見
めぐれ

いさゝ小松さしかへしは時雨てみまほしは
しけみまた見わたし
海ならのうちにしられて人も見えてし川
庭の松
春の浦のたより
ねかしの行人のゆふなるの住ゐらん
しこのの浪たれ
くもりとゝまりの浦はまてならひの空
浦夜夢をいへる
ちとせのかけ
よしの浦の人の付つてかんてそえ
のすまうらはしてきゝて
旅しめてしるさとのうき人はなれこえ
いさよひ
ちくらの浜き月
古郷梅
こころもしらぬ梅の香をしたう
まちかねて
まつかは
のかえる人
よかさと旅ねの宿のあはれかや人にしるさそな
梅のおもかけ
を匂ふ

霧こめてみなれし野辺のかはつゝみさくらの[illegible]のはなをみるかな

山家落花
しくしくもとりあへぬよそのはなちるに人めこそなけれさとはまれなり

二月雨
よもの山のやまのはるさめふりしきておなしにほひのはなのしたかけ
木のもとのはなのかけにも[illegible]つきのかけをしたふ[illegible]

[illegible]
わすれなむわすれしとおもふよのいつかはなのさかりをしらむ

二月中旬
はなさくらの花にさそはれてはれまなき[illegible]

[illegible]
行かよふ人をむかへて[illegible]

夜雨知春
みかのはらわけしのゝめの[illegible]

更梅
色香をもよそにおもはぬ[illegible]

湖春雨
ふるさとのはらからのうちにきゝしはるさめの[illegible]

浅春
ふくとしもしらぬはゆきのうちにきえて[illegible]

春日望
うちなひくはるのかすみのたなひきて[illegible]

こゝろのはなにまよふことも[illegible]

里鶯
まちえしうくひすのこゑはのこるやとおもふ[illegible]

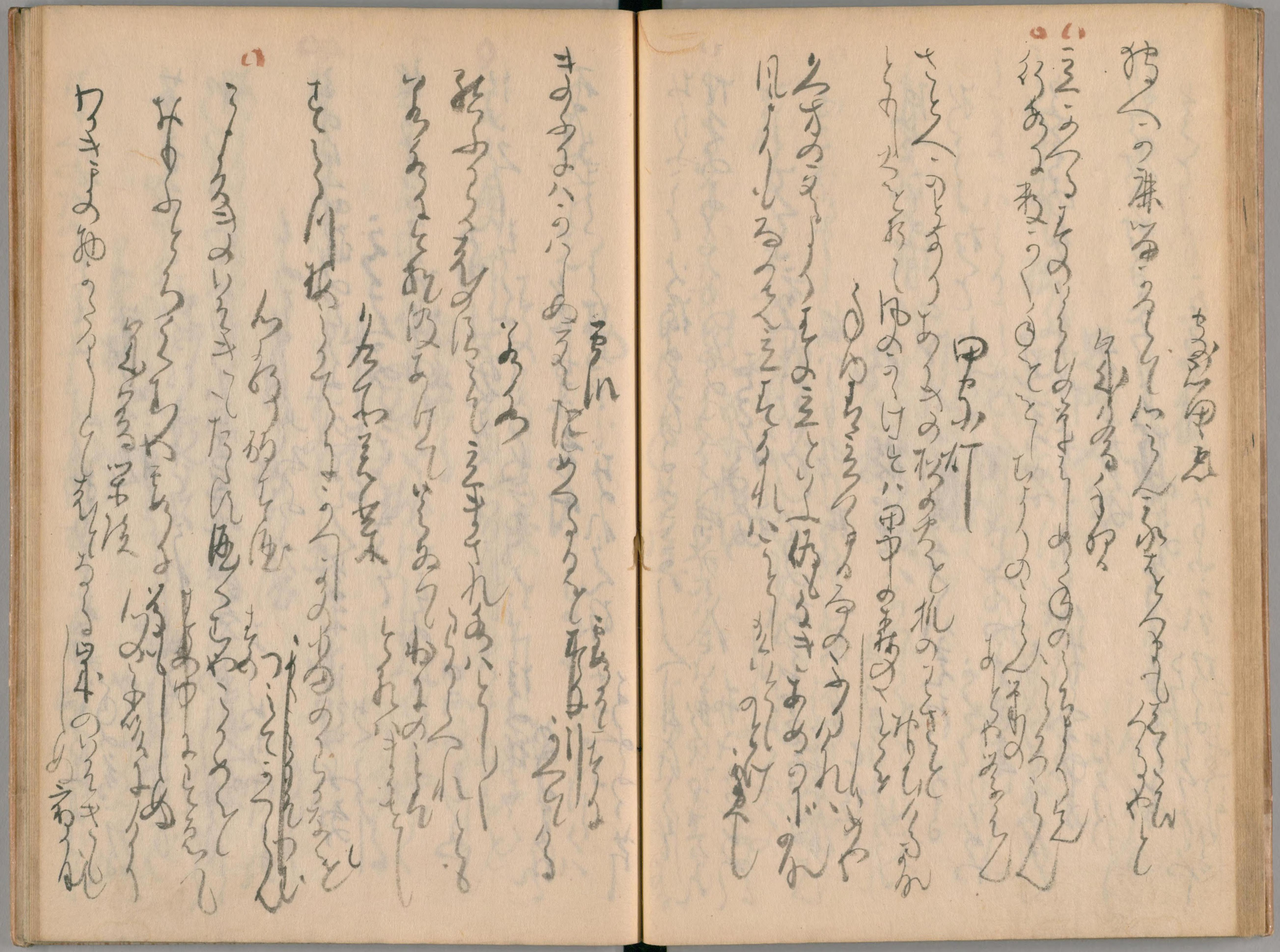
国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

こよひのみ春のしつけさあかなくにめさましはやくなかまあるまのかけかれ

寄鳥恋

若人をまつもかひなきものゆゑにしらてそかへる鳥のこゑかな

わかれきつるやよひの空の月かけはつらき名残りのおもかけそたつ

よこめしの花のさかり

たのめおく人のうへの鶯かなくなる声も袖にかくれて

えたよりもなかれてちるかきの花を
さそふる風のあとそさひしき

あかしかはのかねとほくわかれきて
のきのもしほ

かふしかたしき

わかれても又あふよしはなきものを
つきもなくさむ庭のかたへに

しのふ草

またしらぬ人のなさけのあらはれてたちかへる雲ゆくすゑの空

梅

くるまてとちきりし人はまたこねとむめのはなさくゑしけれ
たのめしのむめの花とそいひおきし梅さく宿に

たきる風のけしきをいまもまてはこそ
なほうらやましと春のさかりに

枯よなる

えたのまつちとせをこえて八梅の花にもまつはあれと
なれつる

たのきかは春のかすみにうちとけて
あかぬこゝろの中にあらなむ

朱雀

今朝は霞もあつき庭のまに

梅かえもかくまてにほふ春なれはさかりの色にあけそめぬへし

おもひ遣る

ふみかよふ人もなきよのさひしさは梅のにほひをしるへにそする

よ雲卿

きみかへる春はうれしも

ちへの宿のこゝろをしるやと梅の花の香に風をまちつゝ

ちる花を

ある人六郷に[illegible]そのわか宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みちのくは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ある人六郷に[illegible]

紅葉

[illegible]

[illegible]

に

[illegible]

[illegible]

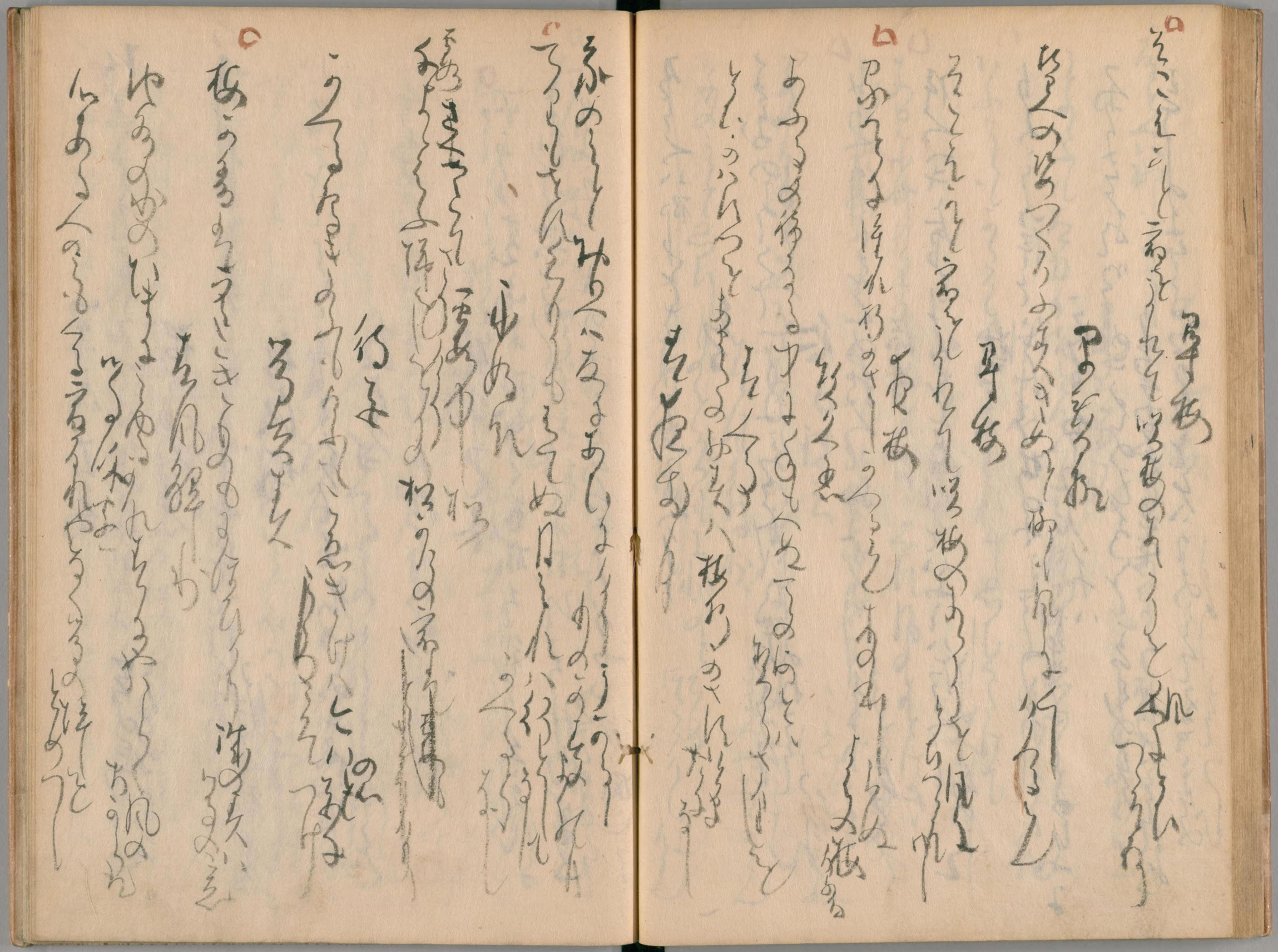
[illegible]

萩

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

みちのくてしらまつのうへをしるらむ 落の梅のちる花

花下人来

咲はなのとをくも見まくもあかすして我ならぬ程の花さかり

故郷桜

いのちとてしるしもあらぬこゝろにて咲桜のうつろふやまのしらまし

ふるさとのこの花さける梅か花さくら花

名所花

花のちる花あはれにさくら花もをしみてはなのちるらむ

桜下乗

よしやとをりくとてはるのかせそよくらむ

かよこのまかせのしるのうちをかすみの中の桜

たれゆへの山かせのすゑさきにほひしはしらぬ心ちする

月

ちらしてを花ちらぬまにみよとさかぬらむ

車

よとはみなかくるましてはるをゆくさくらかな

りしもひのうへてとくるまのあとのさきをと

春雨

つらなるはれて二三の花さくやとさくらの花

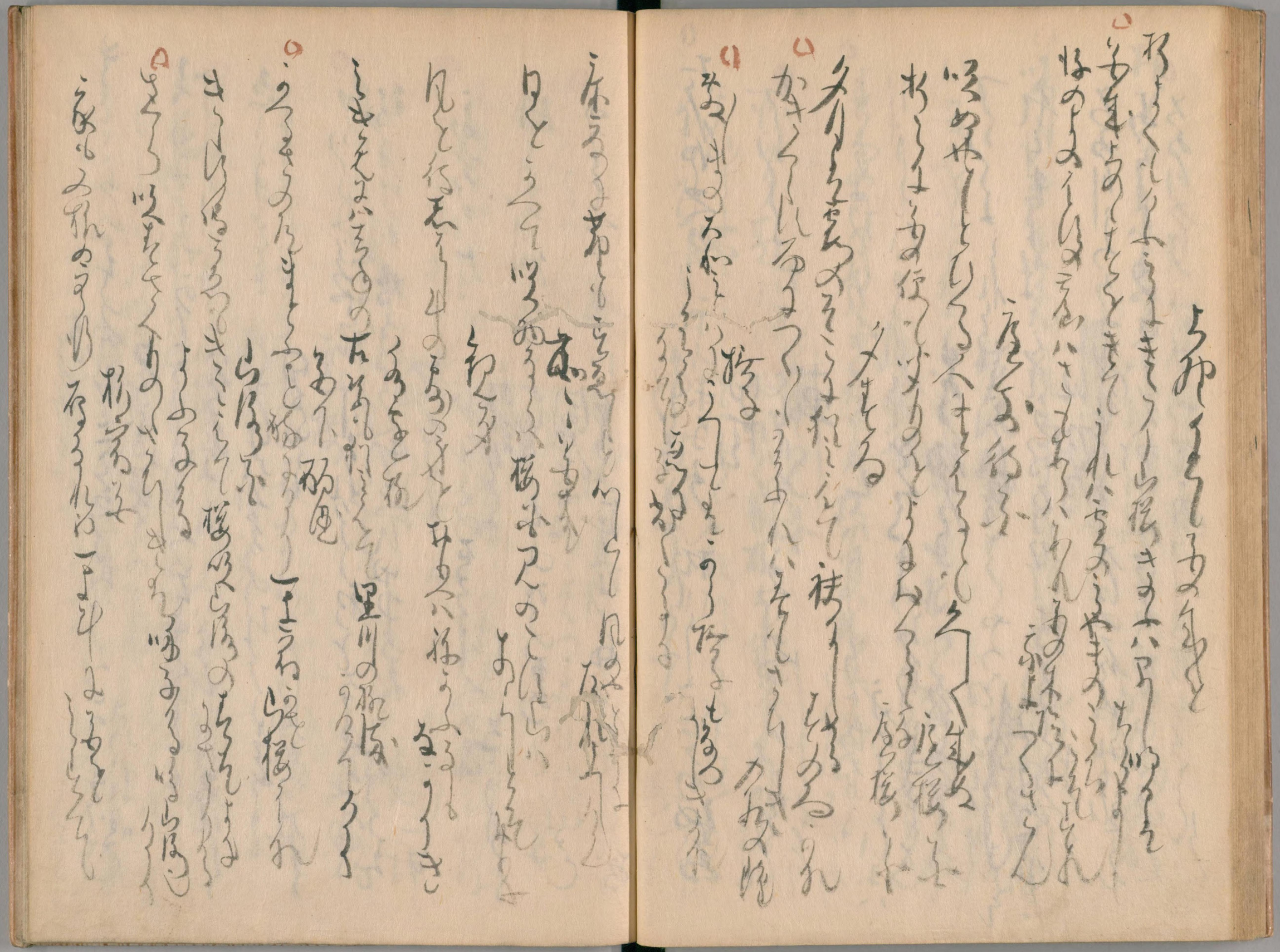
飛花落葉こゝにそのなかにちるこのはもくらん

江路雨

ちるかはらのうへの水なのなかにさかみちのしくら

あかしやまやまのなかの川のあめやかをしらる

ちるか川かはのみるとほしのなかしてさくら

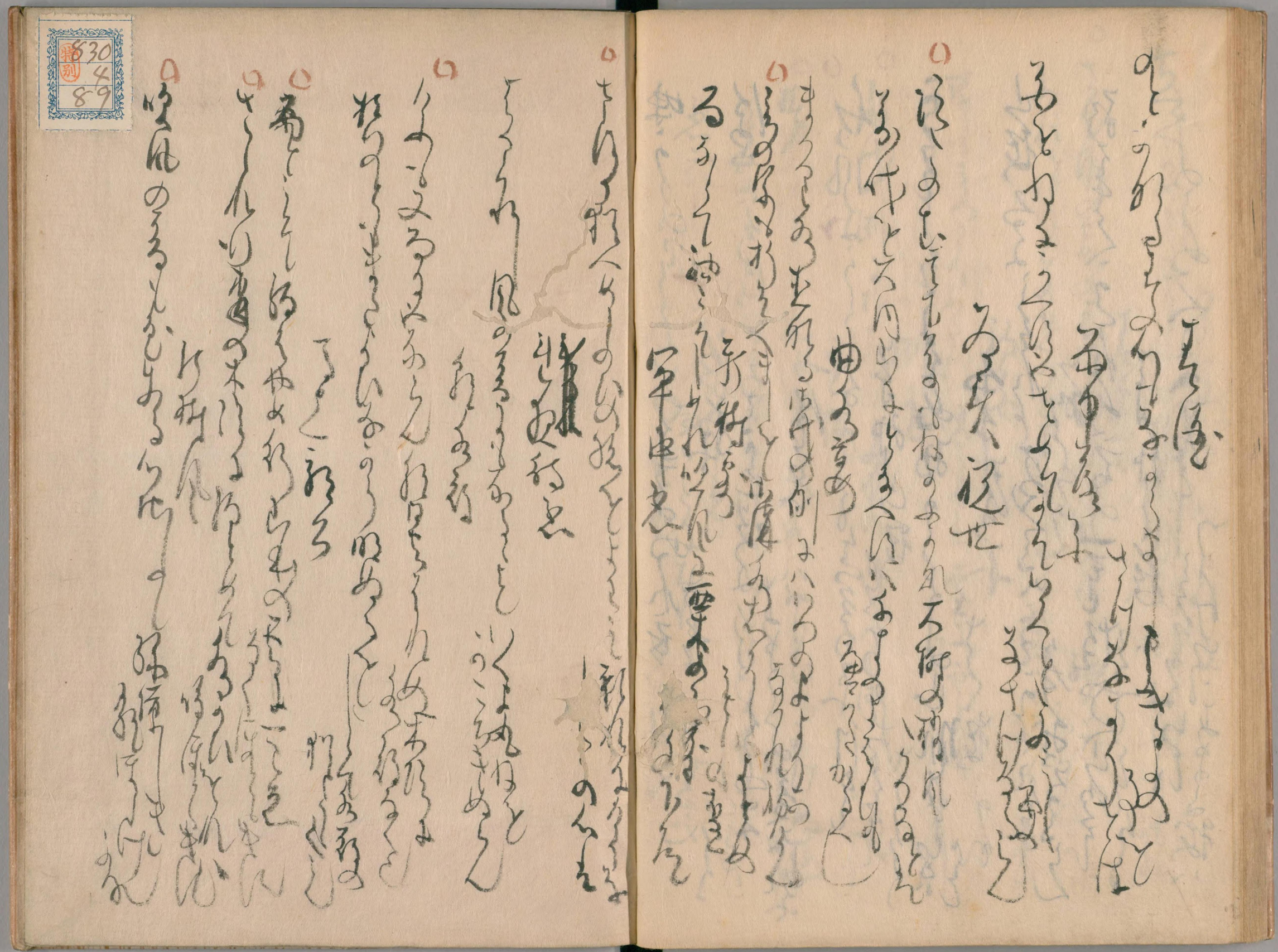


国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89
ガラス使用

特別 830 4 89



国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』　請求記号 830-89　ガラス使用

830
4
89

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』 請求記号 830-89

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『荻園歌集』 請求記号 830-89

ガラス使用